

2023年度

MB

数 学

3月12日(日) 理 学 部 (数学科)
【後 期 日 程】

12 : 20 ~ 14 : 50

注 意 事 項

試験開始前

- 1 監督者の指示があるまで、問題冊子、解答用紙に手を触れてはいけません。
- 2 監督者の指示に従って、全部の解答用紙(5枚)に受験番号を記入しなさい。

試験開始後

- 3 この問題冊子は、5ページあります。はじめに、問題冊子、解答用紙を確かめ、枚数の不足や、印刷の不鮮明なもの、ページの落丁・乱丁があった場合は、手をあげて監督者に申し出なさい。
- 4 解答はすべて各問に対応した解答用紙に記入しなさい。
- 5 解答スペースが不足するときは、解答用紙の裏面も使用することが出来ます。ただし、その場合は、表面に「裏面へつづく」と明記しなさい。
- 6 問題は、声を出して読んではいけません。
- 7 各問の配点は、比率(%)で表示してあります。

試験終了後

- 8 問題冊子は、必ず持ち帰りなさい。

1 自然数 n に対して $(1 + \sqrt{2})^n$ を

$$(1 + \sqrt{2})^n = x_n + y_n\sqrt{2} \quad (x_n, y_n \text{ は自然数})$$

と表す。(ただし、このような自然数 x_n, y_n が一意に定まることは認めてよい。) また、 $z_n = x_n^2 - 2y_n^2$ とおく。数列 $\{x_n\}, \{y_n\}, \{z_n\}$ について、次の問いに答えよ。

- (1) x_{n+1}, y_{n+1} を、 x_n, y_n を用いてそれぞれ表せ。
- (2) z_{n+1} を z_n を用いて表せ。
- (3) 数列 $\{z_n\}$ の一般項 z_n を求めよ。
- (4) 方程式 $x^2 - 2y^2 = 1$ を満たす自然数 x, y の組 (x, y) を 4 組求めよ。

(配点 20 %)

2 2つの正の数 c, d に対して, 座標空間の4点 $A(2, 1, 0), B(0, 2, -1), C(c, 0, -2c), D(d, -d, d)$ を考える。 $\triangle ABC$ は正三角形とし, $\angle ABD = \frac{\pi}{6}$ とする。このとき, 次の問いに答えよ。

- (1) c, d の値をそれぞれ求めよ。
- (2) 3点 A, B, C を通る平面 α に点 D から下ろした垂線を DE とする。点 E の座標を求めよ。
- (3) 四面体 $ABCD$ の体積を求めよ。

(配点 20 %)

3 実数 p, q に対して, 方程式 $x^3 + px + q = 0$ は異なる 2 つの実数解 α, β をもつとする。ここで, α は重解とする。このとき, 次の問いに答えよ。

- (1) p, q および β を, それぞれ α を用いて表せ。
- (2) $\alpha = 2$ のとき $x^3 + px + q > 0$ となる実数 x の値の範囲を求めよ。
- (3) $\alpha = 2$ とする。曲線 $y = x^3 + px + q$ と直線 $y = 3x + t$ の共有点がちょうど 2 個であるとき, t の値とそのときの 2 つの共有点の座標を求めよ。

(配点 20 %)

4 実数 a, b は $1 < a < b$ を満たすとする。 $0 \leq x \leq 1$ で定義された関数

$$f(x) = \frac{1}{2}(a^x b^{1-x} + a^{1-x} b^x)$$

に対して、次の問いに答えよ。ただし、 \log は自然対数とする。

- (1) 1 ではない正の実数 c に対して $(c^x)' = c^x \log c$ であることを、対数微分法を用いて示せ。
- (2) 第 1 次導関数 $f'(x)$ および第 2 次導関数 $f''(x)$ をそれぞれ求めよ。
- (3) 関数 $f(x)$ の増減を調べ、最大値と最小値を求めよ。
- (4) 定積分 $\int_0^1 f(x) dx$ を求めよ。
- (5) 次の不等式が成り立つことを示せ。

$$\sqrt{ab} \leq \frac{b-a}{\log b - \log a} \leq \frac{a+b}{2}$$

(配点 20 %)

5 複素数平面上の3点 $A(\alpha)$, $B(\beta)$, $C(\gamma)$ を頂点とする $\triangle ABC$ は正三角形であるとする。また,
 $\omega = \frac{\gamma - \alpha}{\beta - \alpha}$ とおく。このとき、次の問いに答えよ。

- (1) $n = 1, 2, 3, 4, 5$ に対しては $\omega^n \neq 1$ であり、かつ $\omega^6 = 1$ であることを示せ。
- (2) $\omega^2 - \omega + 1 = 0$ であることを示せ。
- (3) $\alpha^2 + \beta^2 + \gamma^2 = \beta\gamma + \gamma\alpha + \alpha\beta$ であることを示せ。
- (4) $\alpha = 2 - i$, $\beta = 5 + i$ のとき、 γ の値を求めよ。ただし、 i は虚数単位とする。

(配点 20 %)

正解・解答例

教科・科目名	数学 MB（後期日程試験：令和5年度）
1	(1) $x_{n+1} = x_n + 2y_n, \quad y_{n+1} = x_n + y_n$ (2) $z_{n+1} = -z_n$ (3) $z_n = (-1)^n$ (4) $(x, y) = (3, 2), (17, 12), (99, 70), (577, 408)$ など
2	(1) $c = 1, \quad d = 3$ (2) $E(5, -1, 1)$ (3) 3
3	(1) $p = -3a^2, \quad q = 2a^3, \quad \beta = -2a$ (2) $-4 < x < 2$ および $2 < x$ (3) $t = 16 - 10\sqrt{5}$ のとき $(\sqrt{5}, 16 - 7\sqrt{5}), (-2\sqrt{5}, 16 - 16\sqrt{5})$ $t = 16 + 10\sqrt{5}$ のとき $(-\sqrt{5}, 16 + 7\sqrt{5}), (2\sqrt{5}, 16 + 16\sqrt{5})$
4	(1) 略 (2) $f'(x) = \frac{\log a - \log b}{2}(a^x b^{1-x} - a^{1-x} b^x),$ $f''(x) = \frac{(\log a - \log b)^2}{2}(a^x b^{1-x} + a^{1-x} b^x)$ (3) $x = 0$ および $x = 1$ のとき最大値 $\frac{a+b}{2}, \quad x = \frac{1}{2}$ のとき最小値 \sqrt{ab} (増減は略) (4) $\frac{b-a}{\log b - \log a}$ (5) 略
5	(1) 略 (2) 略 (3) 略 (4) $\gamma = \frac{7-2\sqrt{3}}{2} + \frac{3\sqrt{3}}{2}i, \quad \frac{7+2\sqrt{3}}{2} - \frac{3\sqrt{3}}{2}i$

採点・評価基準（具体的基準）

教科・科目名	数 学 MB（後期日程試験：令和 5 年度）
実施学部 学科（課程）等	理学部（数学科）
出題のねらい	<p>1 数列の基本を理解しているか。二項定理を用いた計算ができるか。</p> <p>2 ベクトルに関する基本的な性質を理解し、空間図形に関する問題を解くことができるか。</p> <p>3 3次関数の基本を理解しているか。恒等式について理解しているか。</p> <p>4 微分・積分の基本を理解しているか。指数関数・対数関数について理解しているか。</p> <p>5 複素数に関する基本的な性質を理解しているか。</p>
採点基準	<p>1 配点 20 %</p> <p>2 配点 20 %</p> <p>3 配点 20 %</p> <p>4 配点 20 %</p> <p>5 配点 20 %</p>